

会 報

No. 52

会長就任にあたり

三井 逸友（横浜国立大学大学院環境情報研究院）

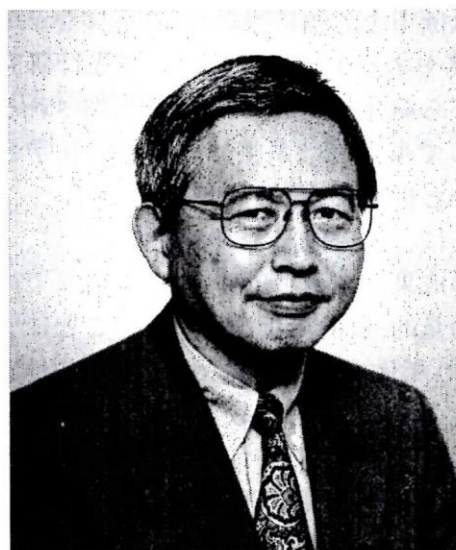
このたび私が日本中小企業学会第10期の運営の責を担うことになりました。歴代の会長、各役員の方々のご業績ご貢献を思うとき、いささかたじろぐ思いもありますが、各役員諸兄並びに会員諸氏のお力添えをいただき、日本の中小企業研究の発展のために、全力を尽くす覚悟です。

特に今期には学会創立30周年という大きな節目を迎えます。会員が一致協力をし、物心両面で学会を支え、学会にふさわしい活動の維持発展、研究者同士の交流と切磋琢磨を期していくことが何より大切であると考えます。そのうえで、今後新たに挑戦すべきものとして、私は四つの課題を考えております。

一. 中小企業研究の学問水準の質的向上を重視しながら、会員拡大と学会活動の活性化、運営体制の一層の強化を図る。

二. 学会と諸方面との協力連携を推進し、プロジェクト・イベントなどで社会貢献とプレゼンスの強化を図る。

三. 若手研究者の成長と研鑽の機会を拡充し、学会の存在意義を発揮する。



四. 情報発信や参加、連携を含め、日本中小企業学会と世界の研究組織等との交流を推進する。こうした課題の実現に着実に歩んで参りたいと思います。